【d0000020-022.jpg】

○人王五十一代天皇の御子阿保親王、業平の親也、

此所に住給ひしと也、故に所の名を村と申ならハす、宮作

りし給ひし所今に有、西阿保・東阿保とて二村有、東阿保ニ旧跡有

　　春の色は東阿保の景気哉　　　　　　　　重成

○親王池といふ大なる池有、いつの比にかありけん、ある児

此池にてうせ侍る、おやかなしく思ひ、ちこのとふらひに、長五間

ほとのそとハ木を池の中に立しより児か池と申ならハ

すと也、此そとハ朽たをるれハ、又里人もとのことくのそとハ木をたて今に有、

一見卒都婆永離三悪道、なさけある里人かなと、道行人もかんし、

一返の廻向してとふらへハ、旅人も無常心を發し、児もうかひ給ふらんと人々申侍

狂哥　　　　　　　　　　　　宗信

【d0000020-023.jpg】

跡とハんむかしを今に児か池の水に数かくそとハ木の文字

　　やかねつけとんほう児か池　　一十

　　そとは見てなミたの露や児か池　　重成

　　児か池水せかきする卒都婆かな　堺政長

　　児か池すいたか月の影法師　　　　可清

　　かきなかせいろはちりぬる児か池　元由

　　見てせよちこか池　　　冝休

　　降雪も水のあハヽや児か池　　　　常有

○阿保親王御廟と云山也、

　　枩や是月のくまやすの塚　　　　一十

　　大塚やとれをしるしの松の雪　　　光栄